教育課程

社会と関わり合いながら生きていく力の育成

~地域の人材や施設の積極的な活用~

小出特別支援学校川西分校(高等部) 佐藤 正高

活用のねらい

- ○実際の施設等を利用して体験的に学ぶ
- 〇教師ではなく、専門家(プロ)から学ぶ
- ○学習成果を発揮する場、活動の場の拡大
- 〇地域住民に川西分校や生徒のことを知っ てもらう



実践1 社会生活

- 〇地域校外学習
 - 公共施設、公共交通機関等の利用体験
- ・市民交流センター「分じろう」を拠点 として、市内の施設を巡る班別活動



〇出前授業

- NTTによる講義
- ・選挙管理委員会による講義、模擬選挙
- ・歯科衛生士による講義、実技指導

実践2 職業技能

- 〇カフェ・バックヤード班
- ・地域でのコーヒーの無料試飲配布 (文化祭PR活動)
- 市内喫茶店の利用体験
- ・小千谷総合支援学校との交流(カフェ)



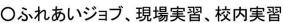
- ·地域での製品販売(文化祭PR活動)
- 〇清掃:介護班
 - 市内施設での清掃活動
- ・老齢福祉施設での介護マナー・実技講習会、施設見学、実習
- ・ビルクリーニング会社による清掃指導
- ・社会福祉協議会による介護マナー実技講習会、校内検定の審査

実践3 職業生活・職場実習

- ○ビジネスマナー・面接講習会
- ・ハローワークによる講義、演習
- 面接検定の審査

〇進路校外学習

・ハローワーク、グループホーム 相談支援センター、企業、福祉事業所等の見学



- ・実習先での指導…協力事業所(116事業所)
- 作業資材の提供

実践4 保健体育・その他

- 〇エアロビクス指導
 - ・週1回、朝運動での指導
- 体育祭で披露
- ・文化祭のダンス発表について のアドバイス



- 〇二ュースポーツの体験(NPOネージュスポーツクラブ)
- ・体育祭時に、親子で体験
- 校外学習での体験
- 〇地域活動への参加
- ·スポーツイベント(NPOネージュスポーツクラブ)
- ・まちなかGAKUENSAI(NPO市民活動ネットワークひとサポ)

成果と課題

- 《成果》〇学習の広がりと深まり
 - →学校ではできない生きた活動・体験
 - ○地域との連携の促進
 - →認知度UP、協力者の拡大

- 《課題》●できる力・実践力につなげる取組
 - →スキル・体験・必要性を総合的に高めていく 家庭と連携し、日常の生活につなげていく
 - ●年間指導計画・授業計画への位置付け →単発の取組にならないように、計画的・ 継続的に行う

